

立命館大学技術士会 第13回総会 ご案内

令和 4年(2022年) 6月吉日
立命館大学技術士会 会長 土屋光弘

立命館大学技術士会会員各位

立命館大学技術士会は、2009年12月の設立以降、13年間その活動を継続してきました。これもひとえに会員皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

この間、①会員相互の親睦②大学の発展に貢献③会員の技術レベルの向上と本会の発展・拡大④技術士を目指す母校後進への支援⑤地域及び社会活動への技術支援、助言等を志向するなど、その活動も定着してきました。また、会の設立以降、技術士受験指導を毎年継続し、今年度は受講生6名を指導中です。

大学では、6月に「めざせ！技術士」、7月には「立命技術士懇談会」を開催し、公務員・ゼネコン・コンサルそれぞれの立場で活躍する会員技術士が、学生達に卒業後の技術者としての社会活動のあり方や実社会での経験談をお話しします。

さらに昨年度から、環境都市工学科の授業担当講師として、会員技術士が技術士制度等の講義を担っています。また、今年1月には『土木技術者が語る未来』～今、伝えておきたい技術者の心～と題して、電子書籍を発刊いたしました。

こうした活動内容のご報告と本会へのご意見を賜るため、第13回総会を開催します。現在、新型コロナウイルスの感染は、ワクチン接種率が上がったこともあり小康状態ですが、依然その動向は注視する必要があります。当会として、総会及び親睦会は今後の感染状況を見据え最終判断することとしますが、現時点では感染拡大防止対策を十分に施した上で開催する予定です。

なお、総会の議案は会則第19条に則り、出席者の過半数をもって議決いたします。

記

1. 開催日時 : 令和 4 年 6 月 25 日(土)
2. 開催場所 : (一社)中央電気倶楽部 (215号室)、親睦会は3F大食堂
3. 開催内容 : 総会 13:00～14:00
講演会 14:00～17:00
親睦会 17:00～18:30
4. 回答期限 : 6月20日(月)(下記、企画・窓口担当メールにお願いします。)
総会、講演会、親睦会参加の有無を返信用データにて回答ください。

なお、講演会は、会場及びzoomを使用したWeb併用で開催いたします。講演会参加希望者は、連絡用メールアドレスを下記、企画・窓口担当メールアドレスまでお知らせください。講演会開催の前日に、参加用URLをお知らせします。ただし、講演会は時間の都合上、当日は聴講のみで質問等受付出来ません。

事務局 企画・窓口担当 E-mail rits.kikaku.mado@gmail.com

URL : <http://alumni.ritsumei.jp/gijutsusikai/>

Fax : 075-951-1304

立命館大学技術士会 第13回総会 次第

2022年 6月25日(土)

13:00 ~ 17:00

(一社)中央電気倶楽部 215号室

第13回総会 (13:00~14:00)

- ① 開会および司会挨拶…………… 事務局
- ② 会長挨拶…………… 土屋光弘会長
- ③ 議長選出…………… 会則により会長
- ④ 議案審議…………… 1) 第1号議案
第12期事業報告
……………事務局(幹事長)
2) 第2号議案
第12期決算報告および監査報告
……………事務局(幹事長、会計監事)
3) 第3号議案
第13期事業計画(案)および予算(案)
……………事務局(幹事長)
 <報 告>
 第13期役員人事
……………事務局(幹事長)
- ⑤ その他…………… 令和3年度技術士合格者紹介
- ⑥ 閉会の辞…………… 事務局

以上

講 演 会

① 奥村 一様 (14:00~15:30)

シビル技術士事務所 所長

演題 : 「琵琶湖疏水について」
～語り部として伝えたいこと～

② 西口 彩乃様 (15:30~17:00)

株式会社アキュラホーム 広報課 SDGs推進室室長

演題 : 「木のストローから生まれたもの」
～木のストローから見る「SDGs／環境」の可能性について～

< 第 2 部 > …… 親睦会 (17:00~18:30)

会 費 : 1人 4,000円

会場は、中央電気倶楽部 3F 大食堂

講演者紹介および講演概要

講演1. 奥村 一(おくむら はじめ)

シビル技術士事務所 所長
立命館大学技術士会 相談役
京都技術士会 顧問



演題：「琵琶湖疏水について」

～語り部として伝えたいこと～

概要： 琵琶湖疏水計画は平清盛から700年間前より多くの方々より出願があつたが経済・技術等の理由で何れも却下されてきた。明治に入り東京遷都による京都の産業・人口の衰退からの脱却と工業・産業の振興を図り賭けた大事業を、お抱え外国技術者の力を借りず、日本人のみで完成させた日本最初の大事業で、その上日本の最初の発電所、日本最初の市電、日本最初の鉄筋コンクリート橋などを造った。そのため京都の産業がどのように発展したかなどのお話をしたいと思います。

昭和4年8月5日 京都府紀伊郡堀内村(現在京都市伏見区)出生

学歴： 昭和21年3月 京都市立第一工業学校建築科卒業
昭和24年3月 立命館専門学校土木科卒業
昭和26年3月 立命館大学経済学部卒業(2部)

職歴： 昭和24年4月 京都府土木建築部河港課
昭和62年6月 同上 退職
昭和62年6月 (株)シビル技術研究所 代表取締役社長
平成14年7月 同上 閉鎖
平成14年8月 (株)エース
平成26年3月 同上 退職
平成27年5月 写測エンジニアリング(株)
令和 3年9月 同上 退職
現在 シビル技術士事務所 自営

資格： 技術士(建設部門) 一級建築士 測量士
RCCM 道路 河川・砂防・海岸・海洋
一級土木施工管理技士 宅地建物取引士 ほか

講演2. 西口 彩乃(にしぐち あやの)

株式会社 アキュラホーム 新宿本社広報課 SDGs推進室室長
2022年より奈良県生駒市のいこまSDGsアンバサダーを務める。



演題：「木のストローから生まれたもの」

～木のストローから見る「SDGs/環境」の可能性について～

概要： 2018年の西日本豪雨の際に発生した土砂災害の要因の一つは、適切な間伐が行われていないことによる森林環境の悪化がありました。また同時期にはプラスチックゴミ問題が世界的な環境問題として報道されるようになりました。この2つの問題を解決するために住宅会社広報でありながら、世界で初めて間伐材を薄くスライスし、斜めに巻き上げることで、木のストローの開発・量産化に成功しました。その後、この木のストローは、環境問題についての寄与が評価され、G20や万博での採用、地球環境大賞農林水産大臣賞の他10の賞を受賞し、いまでは教育の題材として多くの学校でも活用されています。1本の木のストローの裏側で何が起こっていたか、どんな世界が広がっていったか、今後社会にとって無視できない「SDGs/環境」という分野の可能性について、SDGsの実践者としてお話できればと思います。

1989年 奈良県生駒生まれ

学歴： 2012年 立命館大学理工学部環境システム工学科卒業

職歴： 2012年 木造注文住宅会社の株式会社アキュラホームに入社
大阪支店での営業職を経て、2014年より新宿本社にて広報を担当。趣味はチアリーディング

一般社団法人 中央電気倶楽部案内図

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2丁目1番25号

TEL 06-6345-6351 (代)

FAX 06-6345-6877

- 大阪駅より徒歩12分
- JR北新地駅より7分
- 地下鉄四つ橋線
西梅田駅より6分
(堂島地下街南詰
C-93番出口を出る)
- 京阪中之島線
渡辺橋駅より5分
- 印は自動車の一方通行

